

応募要項

I. 名古屋市立大学大学院医学研究科教員選考規程(抜粋)

第2条 教授は次の各号に該当する者の中から選考する。

- (1) 大学卒業後10年以上の専門経歴があること。
- (2) 健康にして人格高潔であること。
- (3) 学位または研究業績があること。
- (4) 研究および教授上の能力があること。

(注) 専門経歴は平成20年(2008年)6月29日までの期間で計算する。狭義の分野に特定せず、広く関連分野の診療・教育・研究経歴も含む。

II. 書類作成上の注意

1. 応募書類

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| (1) 履歴書 (別紙様式1) | 1 部 |
| (2) 手術・教育・研究活動・特許等一覧 (別紙様式2-1-1～2-3) | 1 式 |
| (3) 業績目録 (別紙様式3-1～3-5) | 1 式 |
| (4) 業績集計表 (別紙様式4-1～4-3) | 1 式 |
| (5) 論文別刷(原著) (10 編以内、コピー可) | 各 1 部 |
| (6) 別刷論文の要旨 (別紙様式5) | 1 部 |

2. 記載要領

様式1、2、3、5は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/position.dir/> よりWordファイル応募書類 を、様式4はExcelファイル応募書類 をダウンロードして利用のこと。履歴書の署名を除き、他はワードプロセッサなどで作成した印刷文字(12ポイント)を使用する。和文はMS Pゴシック、欧文はTimes New Romanを基本として使用する。

(1) 履歴書 (別紙様式1)

- 1 年齢は平成20年6月29日時点での満年齢を記載する。
- 2 本籍地は都道府県名のみ、外国人の場合国籍は国名のみを記載する。
- 3 現住所・現勤務先のうち、希望する連絡先の□に×印を付ける。
- 4 学歴は高等学校卒業以降を記載する。
- 5 学位には授与大学名および授与年月を記載する。
- 6 免許(医師免許・歯科医師免許・薬剤師免許・獣医師免許等)には取得年月と登録番号を記載する。
- 7 職歴に空白期間のある場合は説明を付ける。
- 8 海外留学または海外出張(3ヶ月以上)は職歴に記載する。海外での受け入れ施設名、国名、期間、身分を記載する。
- 9 専門医・指導医には認定医を含め、取得年月と登録番号を記載する。
- 10 賞罰については学会賞などの受賞について記入する。
- 11 各欄が不足する場合は、別紙により記入すること。

(2)手術・教育・学会・研究助成・特許等一覧(別紙様式2-1-1～2-3)

- 1 手術実績欄には過去5年間の手術経験を術者、指導的助手にわけてその例数を記載する。主となる勤務先での手術のみを記載する。他院での手術が多数にわたる場合は用紙を追加して他院手術として別に集計する。後ほど手術経験のなかから、手術記録の提出を求めることがある。また代表的な手術につきビデオの提出を求めることがある。
- 2 教育実績欄には過去10年間の実績として学部学生・大学院生などの教育に携わった具体的内容(講義・実習など)を記載する。「時間/年」はコマ数ではなく実時間を目安として記載する(例:90分授業は1.5時間)。
他大学での非常勤講師等も含む。
- 3 学会活動欄には所属するすべての学会をあげ、評議員・理事などの役職名をカッコ付きで記載する。
- 4 研究助成欄には過去10年間の公的機関あるいは民間の研究助成団体からの助成金を経年的に(古いものから順に)記載する(単位万円)。日本学術振興会科学研究費補助金は種目名(基盤(B)など)を記載する。代表研究者の場合は当該研究課題(班)全体の金額と本人の受領分を記載する。分担研究者の場合は研究課題名の後に代表研究者名も記載し、当該研究課題(班)全体の金額と本人の受領分を記載する。複数年度にわたる場合はその総額を記載する。本人取得分が明確に出来ない場合は不明と記載する。
- 5 特許欄には、特許名称、発明者、出願人、出願日、出願番号、公開番号、取得した場合は公告・特許番号、を記載する。国外の特許を取得した場合は、その国名も記載する。
- 6 各欄が不足する場合は、別紙により記入する。

(3)業績目録(別紙様式3-1～3-5)

1 論文業績

- ・「原著」「著書」「総説」「その他」欄は、欧文・和文に群別した上で、それぞれ経年的に番号を付して記載する。
- ・著者名は原文の順に共著者名もすべて記載し、本人の名前に下線を付す。
- ・書式用紙が足りない場合は同様の書式でページを追加する。

1)原著

- ・欧文原著はPubMed収載誌に、和文原著は医学中央雑誌に掲載(印刷中を含む)されたものを記載する。但し、査読審査を経たもののみを記載し(症例報告も同様)、学会等の抄録は原著形式の記述であっても含めない。
- ・記載形式は、PubMedのSummary Format に準拠し、「著者名」(全員)、行をかえて「論文の題名」、さらに行をかえて「掲載誌・発行年(西暦); 巻: 初頁-終頁・PMID」の順に記載する。
- ・応募者が筆頭著者またはCorresponding authorとなっている論文には、論文業績リストの番号に*を付す。
- ・原著論文の中から主なものを10編以内選び、それぞれの別刷1部を添付する(コピー可)。

2) 著書

- ・「著者名(全員)」、「論文題名(分担執筆の場合)」、「編集者・監修者名」(3名以上の場合は2名までとし、3名以降は et al. とする)、「書名」、「出版社名」、行をかえて、「初頁-終頁」、「発行年(西暦)」の順に記載する。

3) 総説

- ・年報・紀要・記録集などは除く。和文の場合は、医学中央雑誌に掲載されたものだけを記載する。記載方法は原著記載の要領に準ずる。

4) その他

- ・上記の分類に該当しないが重要な業績と思われるもの(PubMedに掲載されていない欧文原著、受賞記念論文集、書籍の編者など)について記載する。記載形式は原著・著書の記載要領に準ずる。

(注)印刷中のものは校正刷または受理証明書のコピー(応募時点で採択されているもの)を添付する。

2 学会発表

- ・特別講演・招待講演・教育講演・シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップなど(国内学会は一般演題を除く、国際学会は一般演題も含む)について、国内・国際に群別した上で、経年的に記載する。演者名は原文の順に共同演者も含めて記載し、本人の名前に下線を付す。
- ・「演題名」(シンポジウムなどでは主題名の次に行をかえて「演題名」)、改行して「演者名」さらに改行して「学会名」「発表年(西暦)」「演題種別」を記載する。

(4) 業績集計表(別紙様式4-1～4-3)

記載例を参照し、以下の事項に留意して記載する。

- 1 「研究主題」は主なものを3項目以内で記載する。
- 2 「主な所属学会」をあげ、役職名(理事・評議員など)をカッコ付けで記載する。
- 3 様式4-1には、原著・著書・総説の年度別の数を、学会発表は合計した数を記入する。欧文原著はPubMed収載の欧文誌のみとし、和文原著は医学中央雑誌に掲載され査読制度のあるものとする。共著欄の「主」とは筆頭著者またはCorresponding authorとして発表した数、「共」とは第2番目以後の共著者として発表した数を示す。
- 4 様式4-2には、「欧文原著誌名」(PubMed収載の欧文誌のみ)をアルファベット順に記載し、論文数を記入する。
- 5 様式4-3には、「和文原著誌名」(医学中央雑誌収載で査読制度のあるもののみ)を五十音順に記載し、論文数を記入する。
- 6 様式4-2および4-3における共著欄の「主」「共」の分類は、様式4-1と同じとする(様式4-2および4-3はあらかじめ必要枚数をコピーして用いる)。様式はExcel フォーマットになっているので、論文数等は自動的に集計される。

(5) 別刷論文の要旨(別紙様式5)

業績の中から別刷を添付した論文について、論文題名、雑誌名、掲載年、200

字程度の要約(専門分野外の人にも解るよう、研究の独創的な点、意義を中心にしたもの)を邦文で分かりやすく記載する。書式用紙が足りない場合は同様の書式でページを追加する。

III. 公募期間

平成20年(2008年)5月30日(金)から6月29日(日)まで(消印有効)

IV. 送付先

応募書類は書留郵便とし、表に「消化器外科学分野教授応募書類在中」と朱書きし送付する。

宛先: 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

名古屋市立大学大学院医学研究科 医学研究科長 郡健二郎

V. その他

選考の過程で候補者の方々にアンケートを、また複数の最終候補者には当研究科においてセミナーをお願いする予定です。予めご承知おきのほどお願い致します。